

平成 24 年度日本コンクリート工学会第 2 回拡大幹事会 議事録

日 時：平成 25 年 2 月 8 日

場 所：サンポートホール高松 64 会議室

出席者：氏家支部長，橋本幹事，古田幹事，甲斐本部理事，大内常任委員，島常任委員，横井常任委員，森本常任委員，紙田常任委員代理，岡崎(四国支部事務局)

配付資料

2-1 平成 24 年度日本コンクリート工学会第 2 回拡大幹事会議事次第・第一回拡大幹事会議事録案および事業・予算・決算に関する説明資料

●支部長挨拶

氏家支部長より，拡大幹事会開催にあたって挨拶が行われた。

審議事項

1．平成 24 年度第 1 回拡大幹事会議事録確認

資料 2-1 に基づき，平成 24 年度第 1 回拡大幹事会議事録の説明が岡崎よりなされた。議事録案の誤字修正などの指摘がなされたのちに，議事録の承認がなされた。

2．平成 24 年度事業報告案および収支決算案

資料 2-1 に基づき，平成 24 年度事業報告案および収支決算案が氏家支部長より説明なされた。

支部・本部主催事業の報告に加え，コンクリート基本技術調査委員会・不具合補修 WG 報告会が平成 25 年 2 月 1 日香川県高松市アルファアナプキホールにて本部主催で行われ，37 名の参加があったことが報告された。

収支決算案については，決算が行われていないため雑費など今後変更の可能性があるが，支出が確定している項目については承認が得られた。

3．平成 25 年度事業報告案および収支予算案

資料 2-1 に基づき，平成 25 年度事業報告案および収支予算案が氏家支部長より説明なされた。支部・本部主催事業の予定について説明がなされた。

平成 24 年度で終了のフライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会(委員長:徳島大学 上田教授)の委員会講習会を実施する。コンクリートの強度に及ぼす養生条件に関する研究委員会(委員長:香川高等専門学校 水越教授)については，平成 24 年度終了の予定であったが，平成 25 年度も継続することが説明された。なお，平成 25 年度の 3 研究委員会はいずれも本年度に終了するため，次年度の研究委員会発足を積極的に御願いたい。

見学会候補地について，森本常任委員および紙田常任委員から説明があった。前回は高知，前々回は徳島と四国の東で行われていたことを勘案し，今回は愛媛県鹿野川ダムがよいと拡大幹事団の決定がな

された。なお、開催時期について本年度は学生の参加を考慮して9月としたが、今後9月に行う必要は特にない。

平成25年度のコンクリート教育への助成は、阿南工業高校情報土木科椎野教諭に決定した。また、コンクリート甲子園への助成も行うこととした。

平成25年度の役員会幹事会について、役員会についてはメンバー構成を勘案して高松開催にし、幹事会については支部長の裁量で決定することとなった。

平成25年4月に行う総会後の特別講演会は、高知工科大学國島教授に御願います。

平成25年度予算案について、講習会費用は、示方書講習会、フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会講習会、生セミナーに各10万円を計上する。教育助成金は、阿南高専に10万円、コンクリート甲子園に5万円計上する。

事務局人件費については、平成24年度と同じく事務局委託費として216000円計上する。

平成24年度は繰越額削減のため、研究委員会費などを増額し赤字を増額し、平成25年度も踏襲する方向であるが、赤字額が少し大きいため、実験が終了しているコンクリートの強度に及ぼす養生条件に関する研究委員会の計上額を25万円から10万円に削減を要請することや、生セミナーの講習会費については、生コン工業組合共催にできること、フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会は徳島大学の施設を利用することなどより、講習会費の計上額より少なく済むことから、赤字額は予算案よりも少なくなる見込みである。

第一回拡大幹事会は12月中に開催し、第二回拡大幹事会は2月の役員会と同じ日に行うことが決定された。

4. 平成25年度四国支部役員について

資料2-1に基づいて、平成25年度四国支部役員の確認がなされた。次年度の役員の交代があるか確認を御願しいたいと支部長からの説明があった。支部監事について、平成24年度より交代の申し入れがあったため、平成24年度および平成25年度は水越常任委員が監事を務めることが承認された。

支部幹事の定員は支部長を含めないで5名となっていること、平成24年度は監事の交代より香川大学所属の役員が不在となったため、香川大学松島教授、吉田教授の両者に役員になってもらい、一方の教授には幹事になっていただくことが承認された。また、建築分野の常任委員の増員が承認された。

支部推薦委員については、現在の上田常任委員が任期を終え、次期委員は建築分野の委員が就任する必要があることから、平成25年度役員就任予定の松島教授に御願いすることが承認された。

5. その他

氏家支部長より、資料2-1に基づいて高松での年次大会に関する説明がなされた。大会予算案では、300万円の黒字を見込んでいる。年次大会の見学会は、総務部会で決定するが、紙田常任委員、森本常任委員に御願しいたい。なお、実行委員会は島常任委員を実行委員長とするメンバーが既に本部より承認されている。

名誉会員、終身会員に推挙すべき会員がいるため、推薦を必ず行う必要がある。

以上